テク-	- カルインノオメーション	2023 年 10 月 1 日				
テーマ	短縮起動 OS(type2/type3)を標準 OS に戻す手順					
該当機種	V9 シリーズ	No. TI-M-0105-5	1⁄6			

短縮起動 OS から標準 OS に戻す場合、OS アップデートによる中間 OS への更新後、標準 OS に更新する必要があります。



OS のアップデートには、ストレージ (SD カードまたは USB メモリ)、中間 OS プログラム、V-SFT Ver.6.1.6.0 以降が 必要です。

1. 中間 OS (typeM) 更新手順

ユーザー設定

- 以下のリンクより、中間 0S をダウンロードします。(会員登録とログインが必要です。)
   ダウンロードはこちら
- ② ダウンロード、解凍した OSUPDATE フォルダをストレージ(SD カード/USB メモリ)に格納します。
- ③ ストレージを V9 本体に挿入して、V9 の電源を入れます。
- ④ [SYSTEM] スイッチを押して\* [システムメニュー] を表示させ、[ローカルモード] スイッチを押します。 ローカル画面に切り替わります。
  - \* Advanced モデルの場合、画面の四隅の1ヶ所を2 秒以上長押し後、別の四隅の1ヶ所を2 秒以上 長押しすると、[システムメニュー] が表示されます。
- ⑤ [更新許可] メニュースイッチを押し、[更新許可] スイッチを押します。

22			SRAM 設定	
通信設定 ② ステム設定 で 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	本体情報 画面デーク情報 ドライバ情 機種情報 型式 : V91001S プログラムVer: V2.000 SSVer : V2.000 SSVer : V3.80 type2 - フォント情報 フォント Ver: V1.000 - メモリ情報 メモリ使用状況 7428/2867788	<ul> <li>№ ハードウェア情報</li> <li>Ethernet情報</li> <li>IPアドレス : 192, 168, 0, 1</li> <li>サービスボート: 10000</li> <li>伝送速度 : Auto</li> <li>エデイタ転送ボート (リアル)</li> <li>設定ボート : 私」1</li> <li>画面データ : 102x8</li> <li>フオント : 6092x8</li> <li>通信ドライバ : 1234x8</li> <li>通信ドライジ : 1234x8</li> <li>重流でクラム : 0x8</li> <li>空き : 21244x8</li> </ul>	SAMB定     SAMB定     通信地定     の     システム設定     日付時刻設定     日付時刻設定     ストレージ     転送     びの     エック     レージー設定     星航指町	現在の状態:短縮 設定の変更を接回します。 更新許可
2-#-設定 更新許可	OS type3の本体で SD カードを装着し <sup>-</sup>	SD カードが未装着の場合、 て、[カード検出] スイッ <sup>+</sup> <sup>現在の状態 : 標準</sup>	(U下の画面 チを押してく	が表示されます。 ださい。

Hakko Electronics Co., Ltd.

テクニカルインフォメーション No. TI-M-0105-5	2⁄6
--------------------------------	-----

- ⑥ V9 が再起動します。
- ⑦ [OS アップデート] メニュースイッチを押し、[OS のアップデート] スイッチを押します。

システム設定 日付時刻設定 こ こ こ こ こ こ こ こ こ
---

SD カードと USB メモリ両方に OSUPDATE フォルダがある場合、SD カードを優先します。 SD カードを外すか、SD カード内の OSUPDATE フォルダを削除しておきます。

⑧ 以下の確認ダイアログが表示されるので、[実行] スイッチを押します。OS アップデートが開始されます。



⑨ V9 が再起動し、画面が 5 秒程真っ暗になります。



Hakko Electronics Co., Ltd.

テクニカルインフォメーション	No. TI-M-0105-5	3⁄6
		0/0

10 OSの更新中は、以下の画面が表示されます。



① OSのアップデートが正常に終了すると、以下の画面が表示され、自動的に V9 が再起動します。



① Setup Error 画面が表示されます。[Language Setting]スイッチから [日本語(Japanese)] 表示にします。



[SYSTEM] スイッチを押して\*[システムメニュー]を表示させ、[ローカルモード] スイッチを押します。
 ローカル画面に切り替わります。「プログラム Ver:V2.600」「OSVer: V4.40 typeM」であることを確認します。

	4141頁報	囲曲テーダ情報	トライバ情報	N-1	トウエア情報		
<b>(</b> )	- 機種情報 刑式	· v9188;5		- Etherne IPアドレ	t情報 ス : 192.168.	0.1	
	プログラム	Ver : V2,600		サービス	ボート : 10000		
2	OSVer	: V4.40 typeM		伝送速度	: Auto		
言語設定	- フォント1	青報		エディタ	9転送ボート(シ!	リアリ	L)
	フォント	: Multi Font		設定ボー	ト : MJ1		
1001	フォントVe	ir : VI.000					
LAN設定	メモリ情報	用 44 2D			両面データ		ØKR
<i>1</i>	26576/65	536KB		-	フォント		26576KB
VPN股定					通信ドライバ	-	ØKB
					拡張プログラム	:	0KB
9	40	%			空き		38960KB
クラウド股定							
2							
E-Mail股定							

 \* Advanced モデルの場合、画面の四隅の一か所 を2 秒以上長押し後、別の四隅の1ヶ所を2
 秒以上長押しすると、[システムメニュー]が 表示されます。



Hakko Electronics Co., Ltd.

テクニカルインフォメーション	No. TI-M-0105-5	4⁄6
----------------	-----------------	-----

## 2. 標準 0S 更新手順

V-SFT Ver.6.1.6.0 以降のソフトを使用してください。

- ① V-SFTを起動して画面データを開きます。
- ② V-SFTの[システム設定]→ [本体設定]→ [起動方法] タブがないことを確認します。
   [起動方法] タブが表示されている場合、[起動方法] タブで、タイプを「標準」にします。

本体設定	
バックライト         ブザー         システム/モードスイッチ           環境設定         GD-80E/V609E互換設定           表示項目         すべて表示	ガーズ・フォン ローカル画面禁止設定 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・
☑ 連続ブザー音使用する □ オーバーラップをレベル動作させる	本体設定
□ 文字入力モードで「文字目の入力は、文字列を切了する □ パーコードの読み込みテーゲ数をワード単位で出力する	バックライト     ブザー     システム/モードスイッチ     ブリンク/フラッシュ     オーバーラップ     環境設定     GD-80E/V609E互換設定     ローカル画面禁止設定     起動方法
<ul> <li>モード動作: スイッチ/ランプのときメカセージを GD-80 と同じにする</li> <li>数値表示: オーバーフロー時、 合かしかが表示</li> <li>数値表示: SDC00時、 A~F 特殊表示</li> <li>+/-フロッウスイッチ操作時、存在しないテノキーフロックをスキップする</li> <li>オーパーショップとして存在するかラフィッグルー原点をスケリーク原点で取り扱う</li> </ul>	タイプ     ● 標準     ● 短縮     ①     □ 短縮起動時、起動画面を表示する       起動イメージの(案存先     ● 家(本FLASHメモリ)     ● SDカード(内蔵ソケット)     ①
4	フォント容量 6238208 byte 両面空量 4.7104 hyte 画面時約1容量 60053504 byte
	タイプ、保存先の変更時はOSアップデートが必要です。
	  OK 年ャンセル

- ③ [ファイル] → [ストレージマネージャ]をクリックします。ドライブを指定するダイアログが表示されます。
   ④ SD カードを挿入しているドライブを指定して [OK] をクリックします。ストレージマネージャーが起動します。
  - 🖹 🗁 📙 🐔 🔲 スキップ 🦛 🔿 式 🖉 🔻 スクリーン[0] 編集 ( ファイル パーツ 編集 表示 画面設定 転送 日朝プレビュー
     日朝 プレビュー
     日朝 3 現在のウィンドウを印刷 □→ 開 < i 🙆 🔮 F 2、編集 印刷 ストレージ マネージャ ファイル比較 新規作成 プロパティ 言語設定 ストレージのドライブを選択してください X 🖹 📛 🔚 ストレージマネージャー(J:¥) - [ 無題.V9 ] OK ストレ S. Е キャンセル ストレージ 9 最新の情報 ストレージへ ストレージの ストレージ 書きこむ バックアップ コピー BINファイルを プロパティ コメントの 属生 🔨 スクリーン[0] 編集 ( 🖉 📓 ストレージマネージャー(ノ:\) 🛛 リムーバブル ディスク (J:) ファイル名 ファイルの種類 サイズ 更新日時
- ⑤ [ストレージ] → [ストレージへ書き込む] をクリックします。[ストレージに書き込む] ダイアログが表示されます。[OS を書き込む] にチェックし [OK] をクリックします。

	•	ストレージに書き込む
ストレージへ ストレージの ストレージ		☑ 編集中の画面データを書き込む
書きこむ バックアップ コピー		変換するファイルのバス
ストレージ		参照
		DSP0000.BINのファイルコメント
		■白軸マップロード
		□ 日 m / ゲンロー   □ システムフ ロケラムの 転送
		☑ シンステムプロクラム転送後RUNする
		OSの 東 武送
		□ 局番テーブル/EROMバックアップ領域を上書きしない
		図 OSを書き込む
		OK ++)th

Hakko Electronics Co., Ltd.

テクニカルインフォメーション	No. TI-M-0105-5	5⁄6

⑥ 以下の確認ダイアログが表示されるので、[OK] をクリックします。



- \* [システム設定] → [本体設定] → [起動方法] のタブがある場合のみ表示が出ます。
- ⑦ SD カードへの書込が完了すると、アクセスフォルダ(例 [EXT0000])と [OSUPDATE] フォルダが表示されます。



[OSUPDATE] フォルダにファイルが保存されます。

🔬 🛯 🛏 🔲 🤊 (e 👄 -	ストレージ	ストレージマネージャ	ァー(E:¥) - [ 無題.V9 ]		-		×
🏁 編集 表示 ヘルプ	ストレージ					スタイル	- 👔
2 C2		最新の情報					
書きこむ バックアップ コビー	戻す 編集	==					
	BINJ/171	衣示					
	ノージマネージャー(E:\) ×						⊳
□·· □ USB ドライブ (E:)	ファイル名	ファイルの種類	サイズ	更新日時			
EXTODO	files.md5	MD5 ファイル	1 KB	2022/03/25 14:03			
OSOPDATE	fw.conf	CONF ファイル	1 KB	2022/03/25 14:03			
	OS1.bin	BIN ファイル	205 KB	2022/03/24 14:42			
	OS2.bin	BIN ファイル	5, 152 KB	2022/03/24 14:42			
	OS3.bin	BIN ファイル	116,224 KB	2022/03/24 14:42			
	OS4_1.bin	BIN ファイル	5,092 KB	2022/03/24 14:42			
	OS4_2.bin	BIN ファイル	1,223 KB	2022/03/24 14:43			
	OS5.bin	BIN ファイル	227 KB	2022/03/25 13:20			
	OS6.bin	BIN ファイル	6,464 KB	2022/03/25 13:21			
	OS7_1.bin	BIN ファイル	1 KB	2022/03/25 13:32			
	OS7_2.bin	BIN ファイル	27,608 KB	2022/03/25 13:32			
	OS8.bin	BIN ファイル	116,224 KB	2022/03/24 14:42			

[fw. conf] ファイルを右クリック→ [プロパティ] で、OS バージョンが確認できます。

🙀 🗈 🗁 🖉 🖉 »	ストレージ	ストレージマネージャー	(E:¥) - [ 無題.V9 ]	– 🗆 X
編集 表示 ヘルプ	ストレージ			スタイル ~ 🚯
		4		
ストレージへ ストレージの ストレージ   書きこむ バックアップ コビー	BINファイルを <b>プロパティ</b> コメントの 戻す 編集	最新の情報	fw.confのプロパティ	×
ストレージ	BINファイル	表示	全般	
🛛 🔀 スクリーン(0) 🖉 ストレ	ノージマネージャー(E:\) ×			
□ USB ドライブ (E:) ■ EXT0000 	ファイル名	ファイルの種類 MD5 ファイル NF ファイル Ctrl+X	fw.conf	
		ファイル Ctrl+C ファイル	OSパージョン: V4.40	]
	□ OS4_ X 削除(D)	Delete 7711	種類: CONF ファイル	·
	0554_ 055.1 全て選択(A)	CtrI+A 77/1	サイズ: 284783239 B	/te
	□ OSA □ OS7 □ OS7	F5 ファイル ファイル ファイル ファイル	更新日時: 2022年04月0	1日 10:14:42
			OK	<b>キャンセル</b> 適用(A)
			L	

⑧ ストレージを V9 本体に挿入して、V9 の電源を入れます。

Hakko Electronics Co., Ltd.

- ⑨ [SYSTEM] スイッチを押して\* [システムメニュー] を表示させ、[ローカルモード] スイッチを押します。
   ローカル画面に切り替わります。
  - \* Advanced モデルの場合、画面の四隅の1ヶ所を2 秒以上長押し後、別の四隅の1ヶ所を2 秒以上 長押しすると、[システムメニュー] が表示されます。
- 10 標準 0S のアップデートを実行します。「1. 中間 0S 更新手順」の手順⑦~①を参照ください。
- ① [システム情報] 画面で、「プログラム Ver: V2.600 以上」「OSVer: V4.40 以上」であることを確認します。

<u></u>	ようこそ 2022-04-01 18:38:11		<b>9</b>	システム情報	2022-04-01 18:46:05
ようこそ			ようこそ	本体情報 画面データ情報 ドライバ情	報 ハードウェア情報
			•	機種情報	Ethernet情報 IPアドレス : 192.168.0.1
システム情報	この度はお買い上げいただき、誠にありがとうございます。 本機は現在、初期モードになっております。 運転を開始するには画面データの転送を行ってください。 Ethernetで転送する ストレージで転送する	-	システム情報	プログラムVer: V2.600	サービスポート: 10000 伝送速度 : Auto
言語設定			言語設定	フォント情報 フォント情報	エディタ転送ポート(シリアル)
				フォントVer: V1,000	設定ボート : MJ1
			LAN設定	メモリ情報 26576/65536KB 40 %	■ 画面データ : 0KB □ フォント : 26576KB
ストレージ 転送			ストレージ 転送		■ 通信ドライバ : 0KB
I/0チェック			) 1/0チェック		<ul> <li>■ 拡張フロクラム : 0KB</li> <li>□ 空き : 38960KB</li> </ul>
<u>ē</u> s			09 09		
0Sアップデート			0Sアップデート	+	
				画面データを転送してください。	

以上で標準 OS に戻りました。画面データを転送してください。

ストレージマネージャーで OS を書き込む際、標準 OS を書き込むか短縮起動 OS (type2/type3) を書き  $(\bullet \bullet)$ 込むかは、V-SFTの設定によって変わります。 <標準 0S を書き込む場合> [システム設定]→[本体設定]→[起動方法]タブがない、 または [システム設定] → [本体設定] → [起動方法] タブ→「タイプ:標準」 <短縮起動 OS (type2) を書き込む場合> [システム設定]→ [本体設定]→ [起動方法] タブ→「タイプ:短縮」、 「起動イメージの保存先:本体 FLASH メモリ」 詳しくはテクニカルインフォメーション TI-M-0102 参照 <短縮起動 OS (type3) を書き込む場合> [システム設定]→[本体設定]→[起動方法]タブ→「タイプ:短縮」、 「起動イメージの保存先:SDカード(内蔵ソケット)」 詳しくはテクニカルインフォメーション TI-M-0103 参照

【お問い合わせ】モニタッチコールセンター Tel: 0120-128-220 E-mail: gijyutsu1@hakko-elec.co.jp